

第5回 農村環境の保全に関する研究会 議事要旨

開 催 日：平成20年7月30日(水)

開催場所：三田共用会議所 3 F 第3特別会議室

(議事要旨)

本研究会の議論の成果をとりまとめて報告書を作成し、農林水産省のホームページに公表する。

中間とりまとめは、農村環境をストックととらえたときに、ストックマネジメントの対象は、従来の物だけではなく、人や自然、人がつくる関係など、ストックマネジメント自身が現実的広がりをもっておさえられているところに特徴がある。

何のためにストックマネジメントを行うかということについて、これまで進めてきた生産性の向上という側面に加え、新しい価値を農村にはっきり位置付けようというところが明確になった。

新たな農業生産物の概念提示があるが、農村環境を保全することによって、最終的にどういうものが実現していくのかということのをあらためて整理する必要がある。

今回の中間とりまとめの中では、生産性の向上と環境の保全は必ずしも対立概念ではないという整理をしている。

農業全体がもつ負の外部性を克服し、新たな農村振興政策の理念として打ち出すことは、評価される。

農業の持続的発展のためには、経済、環境、社会の3つがバランスのとれたものを目指す必要があるが、経済的な領域は、価格という形を通じて消費者や納税者に情報提供が可能だが、環境や社会の領域については、今後、どのようにわかりやすい形で情報提供することができるかが課題。

本研究会の成果を公表することにより、いろいろなところで議論が起こることを期待したい。